

篠山物語

山頂に心地よい風が流れ、アケボリツツジが揺れる。宿毛市と愛媛県、宇和島市の予土県境にある篠山。標高は1065メートル。「お篠」と呼ばれ親しまれてきた。5月にはアケボリツツジが山頂を彩る。8合目にあるオ1駐車場からは約1kmのハイキングコース。さまざまな樹木にふれながら比較的短時間で登ることができる。足指宇和海国立公園特別保護地区に指定されている。

▲瀬戸黒森

短時間で山を楽しめる篠山。どんな山でも、しっかりした装備で安全な山登りをしよう!!

篠山自然学習館

篠山神社周辺の広大な自然林は蓮華座と呼ばれる。

日本三名山 篠山 1065m

国立公園特別保護地区 547.11指定

不老長寿の水

冷たててもおいしい

山頂からは南予アルプスをはじめ宇和海も見える素晴らしい景色が広がる。

感応道友：仏教のことば。自然は呼びかけに対して必ず応えてくれる。山川草木をはじめ自然界にあるものには仙性が宿ると考えた空海は、自然物と人間の間にエネルギーの交流が起ころまで真言を唱えたという。山で静かに過ごすことがあったら、気の合った樹木にお話をうかがっていいに語りかけよう。木が何か応えてくれるかもしれない。人には自然と交感できる能力が備わっているはずだ。

番外地院跡
大同元年(806年)弘法大師により周山された観世音寺跡。かつては88ヶ所の番外礼所だったか、明治元年の神仏分離により寺となる。

1500年以上の歴史を刻む巡礼の道。古道を歩くと、いつとほ違う、遠い時間の流れを感じることができる。

登山道

篠山神社
かつて正木の庄屋藤岡家に奉祀したご祭神を1510余年前にこの山頂に祀った。御荘銀と竹葉の神といひ尊を奉る。火難、盗難、海難、除けや交通安全、家内安全、出産安全などご利益がある。

山頂部に広がる蓮華座周辺は、かつてシヤコササにおおわれた美しい谷であったが、シカの食害が深刻な問題となっている。

コウヤマキの老木群生地
高さ34m 大杉 周囲6.6m 巨木!!

オ1駐車場 WC 山頂1km。8合目

オ2駐車場



出井跡穴

矢筈の池
昔、池の中央に立石があり、その石が伊予と土佐の国境であったと伝わる。

古屋郷

風景林 松田川

笠平キャンプ場

ヘビビツカ小運搬、運転に注意。

篠山といっしょに呼吸をしよう。思い思いに深呼吸すると山の空気と自分の空気が入れかわることも感じる。とてもいい気持ちだ。

山頂は通過点、無事に家まで帰ることが山登りの鉄則。

山で食べる弁当はサイコー!! がんばってのぼろう!! 水はのどがかわく前にこまめ、早め、少なめにのんでいこう!!

曙躑躅(アケボリツツジ)
大型のツツジ。標高1000m以上の山地の岩場や崖地に生える。4月下旬～5月上旬開花。この頃には山頂一帯が淡いピンク色に染まる。それ以外にも躑躅という漢字は難しい。